

# 秋～冬にみられる野鳥



## コゲラ

全長15cm。日本で一番小さなキツツキ。背はこげ茶色に白い点模様が沢山ある。「ギーー ギイー」と鳴く。



## ツグミ

全長24cm。冬鳥として渡来し、畑地、草地、河原など広々とした背の低い草地に棲んでいる。



## エナガ

全長13.5cm。白っぽい小さな体に長い尾が特徴。さえずりは、「チーチー」、「ジュリリ」地鳴きは「チュリリ」、「ジュリリ」。



## ヤマガラ

全長14cm。羽の色は頭とのどの部分は黒く腹は赤褐色。さえずりは「ツーツーピー」とり間延びした鳴き声。



## シジュウカラ

全長14cm。平地から住宅地で見ることができる。木の穴に巣を造る。さえずりは「ツピー、ツピー」と鳴く。



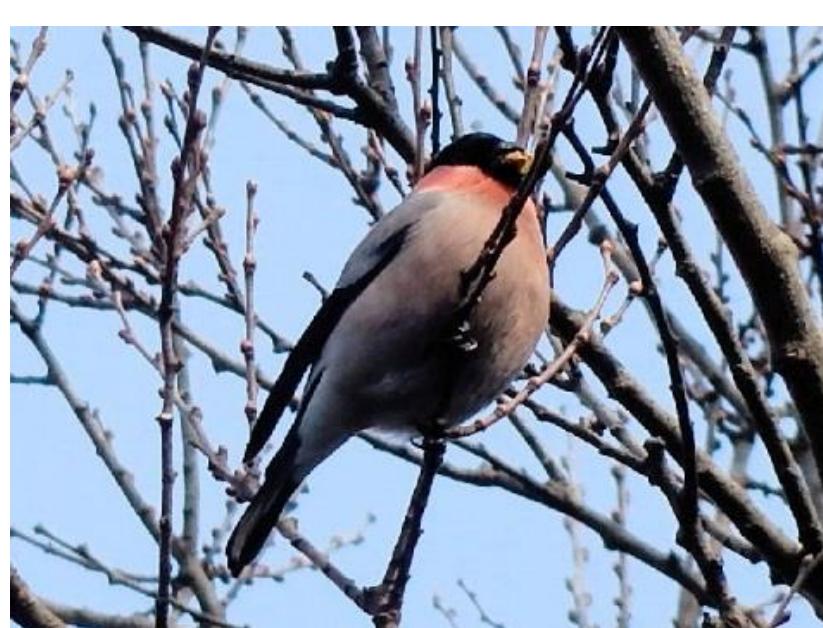
## アオジ

全長16cm。藪などで見られ、さえずりは細かい声で、ゆっくりとした調子で鳴く。地鳴きは藪の中でチッと鋭い声です。



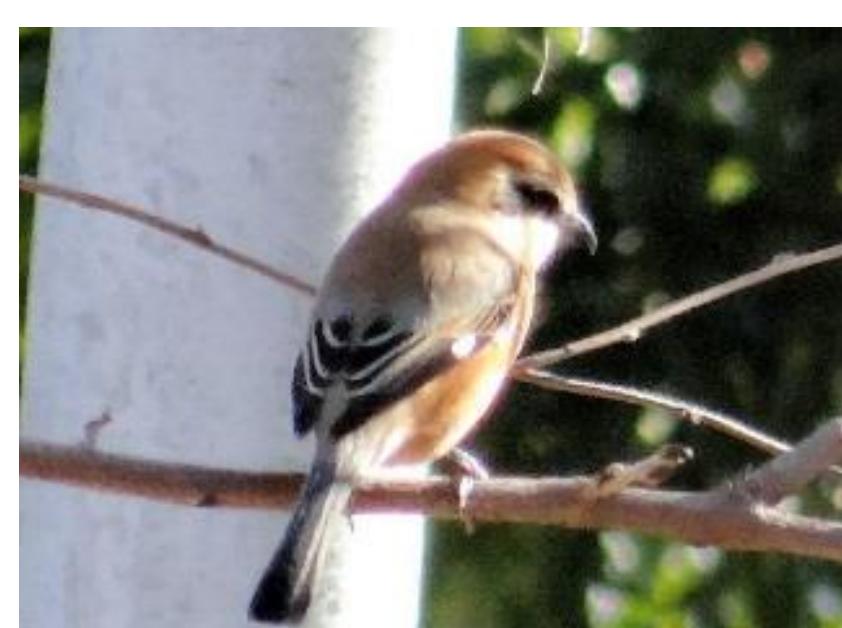
## シロハラ

全長は25cm。10月頃にロシア極東から渡ってくる冬鳥。やぶのある暗い林で見ることが多い。「ツイー」などと地鳴きをする。



## ウソ

全長約15cm。オスでのどが赤く、背や胸、腹がグレー。ヒーヒーと口笛のような鳴き声を発する。



## モズ

全長20cm。秋になると縄張りを宣言するため「キィーキィー」と高い声でさえずる。モズはくちばしが鷹のようにするどい。



## ホオジロ

全長16cm。冬場は地鳴きで「チチッ チチッ」と二声なきます。繁殖期には木の梢などで、「一筆啓上仕候」と聞こえる。



## ジョウビタキ

全長15cm。雄では頭が銀白色、顔は黒色、腹は赤茶色。雌は地味な色。特徴は翼に白斑がある。地鳴きはヒッ、ヒッと鳴く。



## ウグイス

全長15.5cm。冬には山地のものは平地へ下ってくる。その頃は「チャッチャツ」という声を出している。